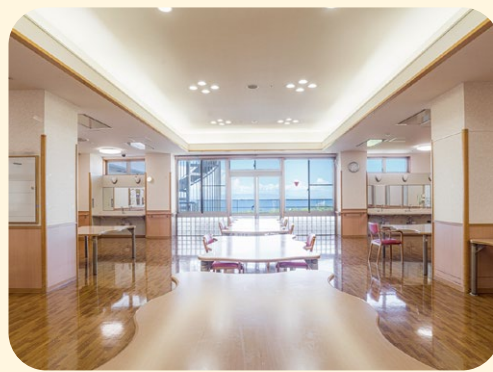


お食事

美味しさ、食べやすさ、栄養に配慮したできたての食事をご用意しています。
利用者のお食事スタイルに合わせて、楽しいお食事のひと時をお過ごしいただけます。



管理栄養士が多職種と一緒に食事中の観察を行い、お一人おひとりの栄養状態や摂食状態を把握し栄養マネジメントを行っています。また医師の指示のもと利用者の病状に合わせた対応も行っています。

普段のお食事

安全で安心できる家庭的な食事を提供しています。

普段のお食事



日本各地の郷土料理



おやつ

食事以外にも毎日おやつを提供しています。定期的にお取り寄せしたおやつで喫茶も行っています。

普段のおやつ



外注のおやつ



point

歯科衛生士・言語聴覚士もサポートします！

口腔内の衛生環境を整えることにより誤嚥性肺炎の予防を行い、お食事を美味しく、より安全に召し上がっていただけるよう取り組んでいます。また食事がうまく飲み込めない・ムセ込みのある方に対して食事形態や介助方法を検討し提案させていただきます。



環境

当施設は大阪湾沿いにあり、きれいな海の景色が一望でき、夏には近くで花火大会が開催されます。

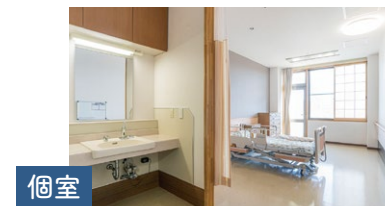


居室

当施設では、個室、2人室、4人室および障害者用トイレを設置しています。



4人室



個室

共用スペース

食堂、デイコーナーなど、共有スペースがあります。



食堂



デイコーナー

入浴

利用者の状態に合わせて、一般浴、機械浴があります。



一般浴



機械浴

MAP・交通アクセス

電車・バスでお越しの方

- 南海本線「樽井駅」から徒歩約15分
- JR阪和線「和泉砂川駅」からタクシー約10分
- JR阪和線「和泉砂川駅」・南海本線「樽井駅」より南海ウィングバス（土・日・祝のみ運行）乗車 → 「イオンモールりんくう泉南」下車 → 徒歩約3分

お車でお越しの方

- 大阪方面から
- 阪神高速4号湾岸線：泉佐野南出口から約15分
 - 阪和自動車道：泉南 I.Cから 約10分
- 和歌山方面から
- 阪和自動車道：阪南 I.Cから 約10分



介護老人保健施設 ライフポート泉南

〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜3番7

TEL 072-480-5610(代表)

FAX 072-485-0270

ホームページ <https://saiseikaisennan.jp/lifeport>
E-mail lifeport@saiseikaisennan.jp



介護老人保健施設 ライフポート泉南

施設入所サービス (予防)短期入所療養介護(ショートステイ)

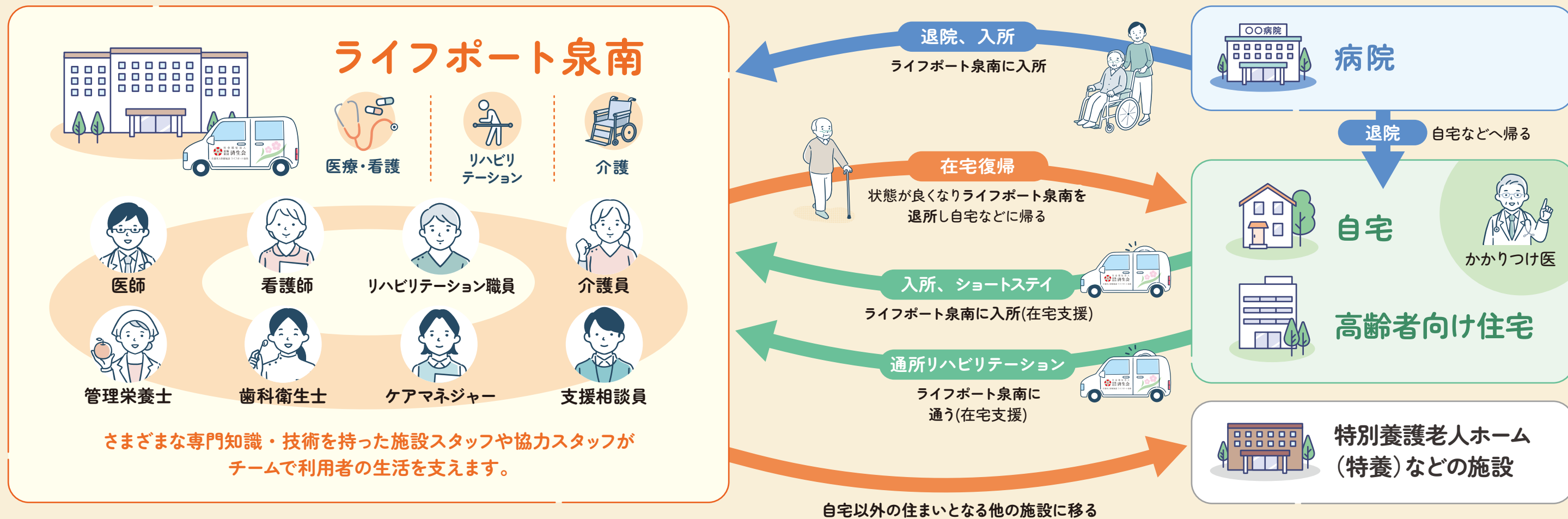
見学・
ご相談
随時受付



社会福祉法人 恩賜 済生会支部 大阪府済生会泉南医療福祉センター

ライフポート泉南(老健)って どういう施設だろう？

ライフポート泉南では、在宅復帰支援施設として多職種協働のもと、健康状態や生活動作能力に応じて、リハビリテーション活動を含めた生活サービスを提供し自立に向けて支援をしています。
利用者・家族が安心した在宅生活を続けられるように支援する介護保険で利用できる施設です。



✓このような方がご利用いただけます

生活動作能力が低下してきた方

体調管理や栄養管理が難しくなってきた方

介護者の入院や体調等により介護者が不在となる方

気候に合わせて(夏期、冬期など)環境の整った場所での生活を希望される方

介護施設を検討されている方

📌施設サービス

要介護度が1以上の方で、病状が安定し入院治療を必要とせず、看護・介護を必要とする方がご利用対象となります。



📌(予防)短期入所療養介護(ショートステイ)

要支援および要介護の方で一時的に在宅介護が困難な方をお預かりするサービスです。介護者の介護負担軽減などにご利用ください。



リハビリテーション

在宅生活を想定したリハビリを提供します。



専門のリハビリスタッフ(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)が利用者の「こんな生活がしたい」という希望を大切に、お一人おひとりの状態に合わせたリハビリメニューを提案します。
日常生活でも、ご自分でできることを一つでも増やせるように多職種と連携して支援します。



個別運動リハビリ

自宅での日常生活に必要な動作能力(起き上がる、立つ、歩く、段差の昇り降りなど)の向上を目的としたリハビリを行います。



認知リハビリ

認知機能が低下している方を対象に見当識訓練(日にち、時間、場所の確認)や、記憶訓練、認知学習療法(計算など)を行います。



言語、摂食・嚥下リハビリ

ことば(話す、聴く、書く、読む)や食べることに障害のある方を対象にリハビリを行い、必要に応じて嚥下状態に合わせた食形態の検討を行います。



自宅への訪問

在宅復帰後も不安なく生活が送れるよう、福祉用具の選定や手すり設置などの環境づくりをご提案します。また、家族への介助方法の指導を行います。

